

田路 貴浩 — 空間と場所

2006.8.9(wed)

18:30~20:00

(open 18:00)

本学人間館 NA302

当日先着順・入場無料

21世紀初頭の現在、われわれは依然として20世紀の建築課題を引きずっているように思う。すなわち、システム化と地域性の確執である。経済的合理性はルーティン化された建築物の巨大化へと向かう。「都市再生」の名のもとで東京から始まった高層建築物の建設ラッシュは、つぎつぎに全国へ広がっている。そもそも近代化とは、地域的な「場所」をグローバルな経済システムの「空間」へと取り込むことであった。それが21世紀になっても、いまだに進行し続けている。ところで、ル・コルビュジエは徹底してシステム志向の人であった。にもかかわらず、場所を個性づける作品をいくつも生みだした。空間と場所のはざまで、いったい、彼は何を思考していたのだろう。あまり知られていない作品、フィルミニのサン・ピーエル教会、カップ・マルタンの休暇小屋などを取りあげながら再考してみたい。



主催：京都造形芸術大学通信教育部建築デザインコース
お問い合わせ：京都造形芸術大学
〒606-8271 京都市京区北白川1-1-116
Tel. 075-791-9122 (代表)
<http://kirara.cyber.kyoto-art.ac.jp/>

アクセス：
■バス
地下鉄烏丸線北大路駅より市バス204系統
京阪出町柳駅より市バス上終町3系統
京阪三条駅より市バス5系統
阪急河原町駅より市バス5系統・上終町3系統
JR京都駅より市バス5系統
上終町京都造形芸術大学前下車
■電車
京阪出町柳駅より叡山電線乗り換え
叡山電線茶山駅より徒歩10分
※本学には駐車場がありません。車の御来場は御遠慮下さい。

田路 貴浩(たじたかひろ) 略歴
明治大学理工学部助教授
博士(工学)
1962年 熊本生まれ
1986年 京都大学工学部建築系学科卒業
1987-88年 文部省給費留学生(国立ハリ建築学校ラ・ヴィレット校)
1990年 京都大学工学研究科建築学専攻修士課程修了
1995年 京都大学工学研究科建築学専攻博士課程修了
1996年 博士(工学)
1996年 明治大学専任講師
2000年 明治大学助教授

著書
『イギリス風景庭園』丸善、2000年
『環境の解釈学』学芸出版社、2003年

作品
1991年 積水化学工業京都技術研究所(京都大学加藤研究室にて)
1992年 関西日仏学館・ヴィラ九条山(京都大学加藤研究室にて)
2001年 A-House
K-Villa

プロジェクト
駅前一戸建て住宅ビル

image; K-Villa